

予算特別委員会 審査概要

平成31年度各会計予算は2月21日の本会議招集日に上程され、議会は20人の委員をもって構成する予算特別委員会(委員長・谷田部一之)を設置しこれに付託し、3月13・14・15日の3日間の日程で慎重に審査を行いました。

審査の結果、一般会計予算・国民健康保険特別会計予算については、4人の委員から「編成替えを求める動議」が提出されましたが、採決の結果賛成少数で否決され、原案のとおり可決されました。

また、介護保険・後期高齢者医療・公共下水道・駐車場事業の各特別会計予算については、いずれも原案のとおり可決されました。主な質疑は以下のとおりです。

一般会計の審査から

【総括質疑】

- ・平成31年度予算は前年度より1億9,200万円、0.7%増額となっているが、今回の予算の特徴は、
- ・予算総額が平成22年度と比較し51億円以上、率で20%以上増額になっているが、10年間で予算規模が大きくなった要因は、
- ・経済的な格差が、子供の生活や学習環境に大きな影響を与えていると感じるが、市の受け止めは、
- ・待機児解消に向けた取り組みが進み、認可保育園など市内の保育施設が増えているが実態は、
- ・市における防災・減災の取り組みの現状と課題は、
- ・災害時に避難所となる小・中学校の体育館へのクローラー設置に向けて財政面からの考え

- ・都立公園誘致について、スパー堤防化と多摩川利活用の現在の状況は、
- ・都市計画マスタープランの改定に際して、立地適正化計画の予算も計上するのか。
- ・道路行政に関して市内の危険箇所や道路の損傷等、データ化されていると思うが、実態と課題は、
- ・今後、国への依存が難しくなることに備えて、歳出の効率化、サービス供給の確保を真剣に考える必要が出てきているが市の見解は、
- ・地域包括ケアシステム構築の進捗状況は、また、狛江市近隣の在宅医の現状と今後の課題、その対策は、
- ・民間活力の導入として保育園民営化や給食調理委託を進めてきたが、平成31年度から新たに導入を図られるものがあるのか。
- ・ラグビーワールドカップの開

催を迎えるに当たり、国際交流に向けてどのような展開があるのか。

今後中期にわたり福祉政策の充実を図り、さらなる施策への取り組みに当たり、どのようなことがポイントとなるのか。

個人所有の樹林地も売却されている現状について、市としての見解は、

【歳入】

・市民税納税義務者数の過去3年間の推移と今後の見通しは、ふるさと納税の影響による市民税の減収に対して今後の対策は、

・市民食堂使用料について、市民食堂に関するアンケート結果、市民ニーズをどのように実現していくのか。

・駐車場貸付収入について、貸付期間は2015年3月5日から2020年3月31日というところで、契約更新に向けてどのような内容の検討を行う予定なのか。

【歳出】

・デジタル地図の今後の可能性やメリットは、

・職員研修について、ハラスメントも含めて来年度どのような研修を行うのか。

・狛江高校の男女共同参画に関するアンケート結果からどういったことがわかるのか。

・防犯カメラについて、31年4月以降の設置予定はあるのか。10月から地方税共通納税システムが稼働予定とされている

平成31年度 会計別予算

	平成31年度	平成30年度	増減	
			金額	率(%)
一般会計	285億9,800万円	284億600万円	1億9,200万円	0.7
特別会計	184億6,991万8千円	186億6,511万3千円	△1億9,519万5千円	△1.0
国民健康保険	81億1,269万円	84億9,168万円	△3億7,899万円	△4.5
後期高齢者医療	20億4,249万1千円	20億396万7千円	3,852万4千円	1.9
介護保険	65億4,671万3千円	63億3,462万5千円	2億1,208万8千円	3.3
公共下水道	17億4,351万円	18億992万2千円	△1億6,412万2千円	△3.7
駐車場事業	2,451万4千円	2,491万9千円	△40万5千円	△1.6
総額	470億6,791万8千円	470億7,111万3千円	△319万5千円	0.0

が、納税者となる企業や自治体としてのメリットは、

・市制施行50周年を記念して作成するオリジナルナンバープレート作成までのスケジュールは、

・コンビニ交付の推移と今後の見込みは、

・窓口にも多言語音声翻訳機を導入する目的は、

【民生費】

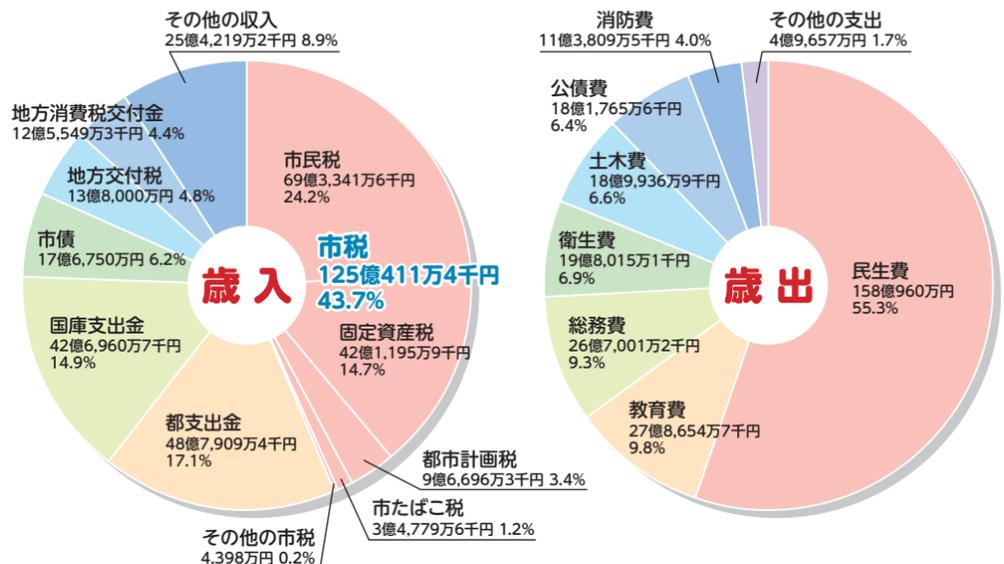
・空家等対策関係費の委託料で、空家等緊急補修委託が計上されているが、この趣旨は、

・生活困窮者自立相談支援事業の任意事業の方向性について、どのように考えているのか。

・介護職員研修を進める上で、市の現時点での介護人材不足、将来的な介護人材不足をどのように見込んでいるのか。

- ・フードバンク事業の食糧支援について、市のかかわりをどのように位置づけているのか。
- ・意思疎通支援事業について、「補聴器と聞こえに関する講演会」講師謝礼が計上されているが、どのような内容を企画しているのか。
- ・福祉避難所として、あいとぴあセンターには粉ミルクをどれだけ備蓄しているのか。
- ・来年度、こまっこ児童館が開設されるが、専門職の配置がどのようになっているのか。
- 【衛生費】
- ・PCB含有物処理費について、高額な処分手数料と委託料だが、何の費用なのか。
- ・来年度狛江駅南口で喫煙所の改修工事が行われるが、どのような改修なのか。
- ・新生児聴覚検査について、積算根拠として新生児の人数、また一人当たりの助成金額は、「ベランダdeキエロー」のモニターとなる方に対し、使用方法などをどのように伝えていくのか。
- ・ごみ分別アプリシステムの使用料、増額理由と運用経費は、がん検診について、委託先が予防医学協会に変わることによって検診の質がどのように向上するのか。
- 【農業費】
- ・市民農園について、来年度の整備内容と本年度の応募の倍率がどのようになっていたのか。
- 【商工費】
- ・就労・創業支援事業費の女性のための働き方セミナーについて、どのような内容になっ

平成31年度 狛江市一般会計予算 歳入・歳出予算総額 285億9,800万円



ているのか。

【土木費】

・歴史公園である亀塚公園、白井塚公園などの今後の整備は、八幡通り整備基本計画に基づき、4カ所の要対策箇所のうち、残る3カ所の場所や対策は、

・岩戸川せせらぎの修繕の進捗状況は、

【消防費】

・臨時災害放送局FM送信装置について、購入の予定時期は、

【教育費】

・いじめ問題等対策推進費について、文部科学省は携帯電話

やスマートフォンの小・中学校の持ち込みを原則許可する方向との発言があったが市の対応は、

・笑育について、来年度は2年目の取り組みで、成果を検証するだけでなく生かしていく必要があると思うが、考えは、

・学校給食費会計を公会計化するメリットについて、どのようなものが想定されるのか。

・部活動助成について、この部活動指導員の想定人数、それから就業体制は、